

## プラレールの駅治療報告 2020年10月5日



- ① 「能生児童館」でレールシステムを作るとき  
の中心となる駅。音声システム、ストップ  
レール、ヘリポートなども備えています。



- ② ジョイント部分（凹部）が割れて跡形もあ  
りません。



- ③ 他のレールから凹部分を切り取り、これを部  
材として使いました。



- ④ 割れたジョイント部分をニツパやヤス  
リで整形。斜めに磨いた所は接着面が広く  
なるよう工夫しました。



- ⑤ 他のレールから切り取った部分と、駅のジ  
ョイントが整合するようにしました。



- ⑥ プラリペアで表面、裏面ともに接着。  
スムーズに車両が走るようにヤスリで  
はみ出した部分を磨いて完成。